

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	小中学校総合学習活動推進事業	担当課	教育課
細分化した事業名	総合学習活動推進事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	将来を担う子どもをのびのびと育むまちづくり	
	政策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実	
	施策	学校教育の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	学校教育法等関係法令 小・中学校学習指導要領

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	各小中学校が創意工夫を凝らし、地域や児童・生徒の発達段階や実態に応じた教育活動を行うことにより、自ら考え体験し問題を解決していく力を養う。
事業の手段	総合的な学習の時間において、自然体験等の校外活動や、外部講師を招いた講話等により学習している。 ・ 職場見学、自然教室等におけるバスの手配 ・ 調べ学習に必要な物品（プリンター等）の購入
事業の対象	・ 小学校3～6年生 ・ 中学校1～3年生

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	2,290	2,499	2,560
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	2,290	2,499	2,560
B	担当職員数(職員E) (人)	0.03	0.05	0.04
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	205	334	260
D	総事業費(A+C) (千円)	2,495	2,833	2,820
主な事業費用の説明	講演会等の講師等謝金。学習活動用消耗品の購入費。校外活動用バス借上げ料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1	職場見学及び外部講師による講習会を実施した学校数 (校)	7	7	7
	2				
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	職場見学及び外部講師による講習会を通して、自ら考え体験し問題を解決していく力を養うことや、情操教育を推進していくために大切な事業であり、妥当である。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	職場見学及び外部講師による講習会を実施した割合	実施校数 7 / 学校数 7	100	100	100
	2	児童・生徒一人当たりのコスト	事業費 2,560 千円 / 児童・生徒数 2,077 人	1,134	1,158	1,233
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	各学校毎に特色ある学習が実施されたことにより、児童・生徒の自ら学び、考え、行動する力が育まれている。				
	2	事業費は、講師謝礼や需用費に充てられており、コストに見合う取組みが行われている。				
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 26年度は現行のとおり。 今後小学校においては、外国語・道徳の授業化に伴い総合学習の時間の縮小が考えられる。 地域の有識者を活用した講演などの工夫。(地元の人材活用)
過去の改善経過	
課長所見	各学校ごとに特色のある授業を実施しておりますが、今後の新学習指導要領を見据え、地元の人材を活かすような授業を検討します。